

清里区における 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 の活用について

実施主体：一般社団法人櫛池農業振興会



2023/10/6

一般社団法人櫛池農業振興会

|



上越市
JOETSU CITY

戦国の名将

上杉謙信公

ゆかりの地

龍

謙信公
本陣旗



上越市
JOETSU CITY

雪覆う、棚田

2023/10/6

一般社団法人櫛池農業振興会



上越市
JOETSU CITY

清廉な雪どけ水

2023/10/6

一般社団法人櫛池農業振興会

国内食糧供給の一翼を担う地域・上越



水稲の作付面積は、**全国4位** 収穫量では、**全国7位**

順位	市町村名	作付面積 (ha)	順位	市町村名	作付面積 (ha)	10a当たり収量 (kg)	収穫量 (t)
1	新潟市	24,600	1	新潟市	24,600	557	136,800
2	長岡市	12,500	2	大仙市	12,100	600	72,700
3	大仙市	12,100	3	鶴岡市	10,900	620	67,600
4	上越市	11,500	4	横手市	11,100	607	67,400
5	横手市	11,100	5	長岡市	12,500	515	64,200
6	鶴岡市	10,900	6	大潟村	10,100	606	61,200
7	登米市	10,300	7	上越市	11,500	530	60,900
8	大潟村	10,100	8	登米市	10,300	574	59,100
9	奥州市	10,000	9	奥州市	10,000	559	56,200
10	栗原市	9,650	10	大崎市	9,540	563	53,700

出典：農林水産省「令和3年作物統計」

上越コシヒカリは、
一般社団法人日本穀物検定協会
食味ランキング

平成25年から**10年連続**

最高評価
「特A」

上越市の米自給率

268% (試算)

※ 年間収穫量約6万トンを上越市年間消費試算量22,420トン(1人当たり米年間消費量がピークであった昭和37年度118kg×上越市人口19万人)で除したもの

⇒ 昭和37年度当時の消費量でも、
50万8千人分の米自給が可能

新潟県上越市清里区とは



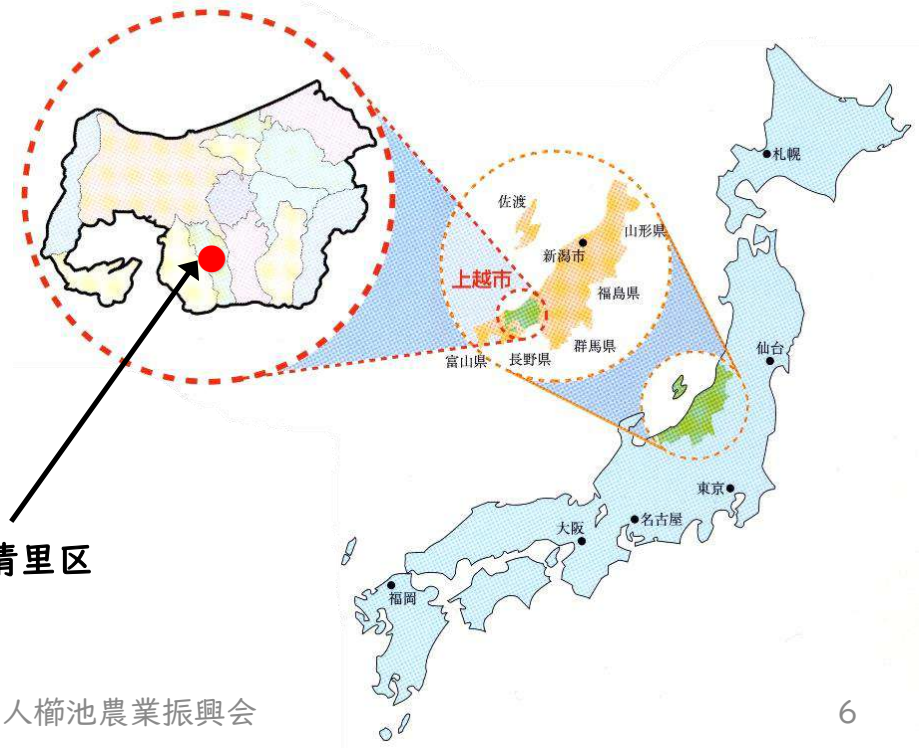
新潟県上越市の概要

- ✓ 平成17年、14市町村の合併により誕生 19年に特例市へ移行
- ✓ 人口は184,941人 (R5.1月現在)
- ✓ 面積は974km² (東京都の約半分の面積)
- ✓ 新潟県の南西部に日本海に面して位置
- ✓ 三大都市圏とほぼ等距離 (北陸新幹線 東京駅⇄上越妙高駅 1時間57分)
- ✓ 多様な海・山・大地に恵まれた自然豊かな地域

清里区の概要

- ✓ 合併前は中頸城郡清里村
- ✓ 人口は883世帯 2,397人 (R5.8月現在)
- ✓ 農業が主な産業
- ✓ 冬は2mの豪雪地域

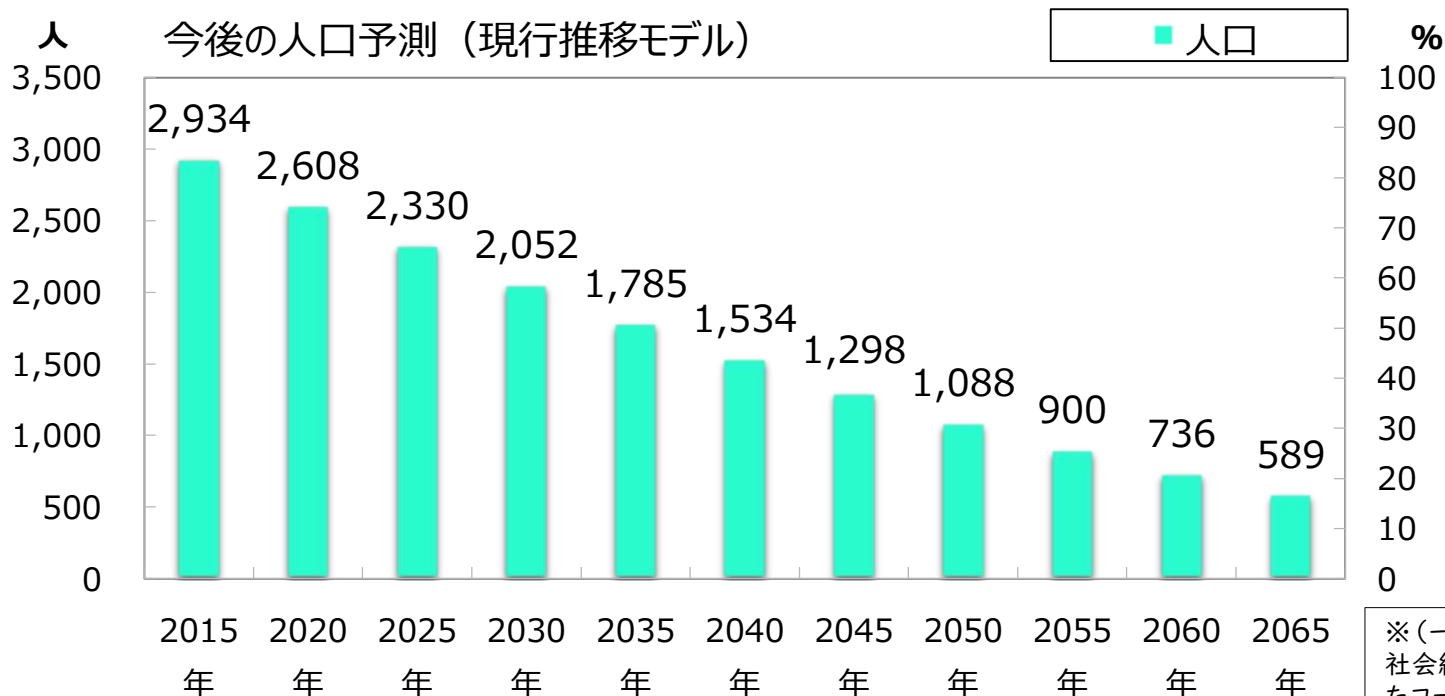
上越市清里区



農村RMO形成推進事業 取組まで

令和3年：新潟県農林水産部事業「ビレッジプラン2030」取組開始

- ✓ 1年目 (R3) 地域住民ワークショップにて現状把握 未来予想図作成
- ✓ 2年目 (R4) 具体的なプラン作成 →プラン実施の資金は？
- ✓ 3年目 (R5) 作成したプランの実践 →プラン実施のために新たな事業を



※(一社)持続可能な地域社会総合研究所が作成したコーホート分析によるシミュレーション結果

人口の目標

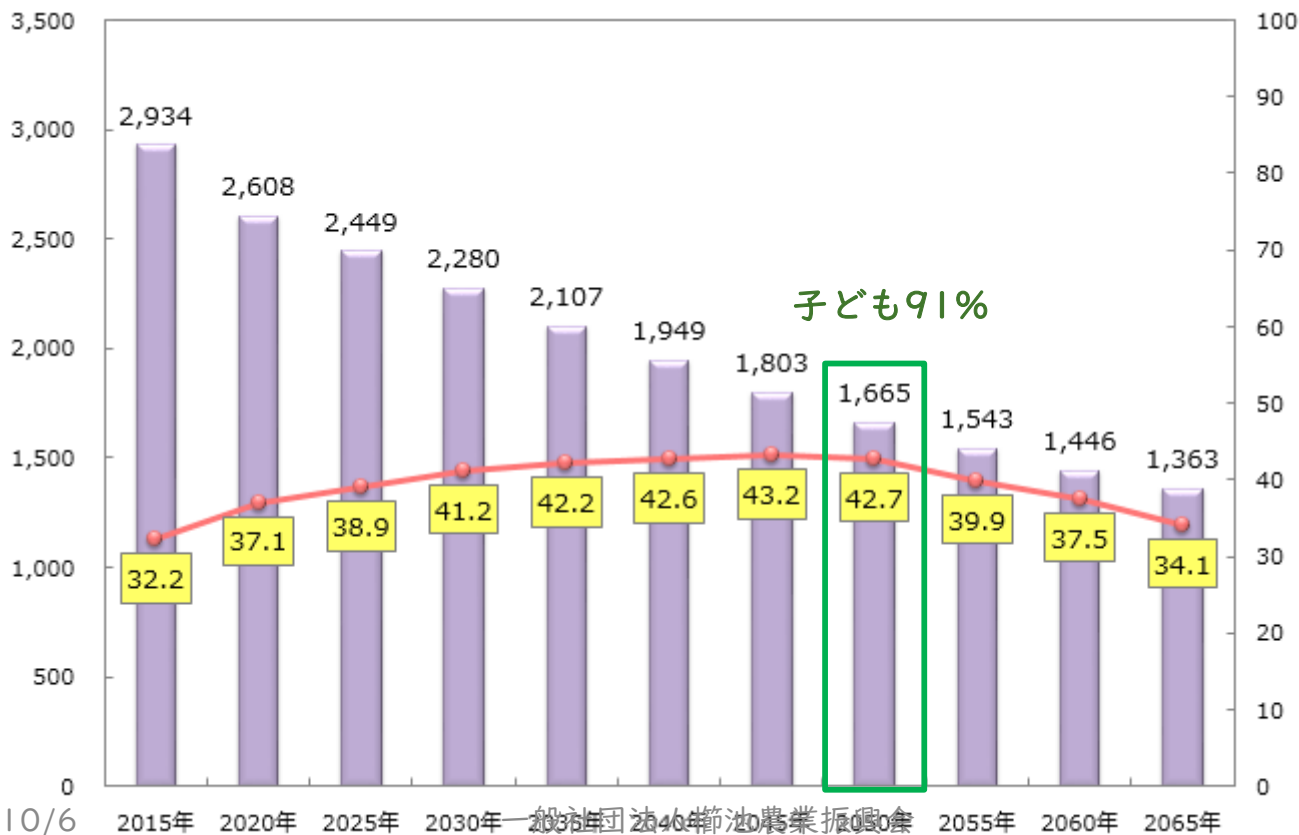
30年後の子ども人口が現在の90%以上

毎年5世帯が定住

①30代前半夫婦+4歳以下の子ども1人：3世帯

②20代前半夫婦：1.5世帯

③60代前半夫婦：0.5世帯



2023/10/6



上越市清里地区将来プラン ～ 地域が目指す姿と就農・定住目標 ～

○ 地域が目指す10年後の姿

- 1 子どもたちが農業に触れる機会を増やし、清里の豊かな資源に魅力を感じて進学などで地域外に出ても戻ってきて就農を目指したくなる地域（目標：毎年3人以上就農）
- 2 スマート農業技術などにより、若い人でも取り組み易い農業（きつくない・カッコイイ）
- 3 若い人や家族・子どもたちが集い、清里の文化を楽しめる拠点施設の整備

○ 基幹的農業従事者の定住目標

- ・ 20代：男性1人、女性0.5人
- ・ 30代：男性0.5人、女性0.5人
- ・ 60代：男性0.5人

1 農の広場

→ ① **農育連携**

(教育機関と連携して区内の子どもたちが農業を学ぶ機会を提供)

(取組主体：区内農業者)

2 山の広場

→ ② **坊ヶ池周辺**などの**地域資源**の活用

(取組主体：櫛池農業振興会)

3 里の広場

→ ③ **就労場所**の確保や**子育て**支援

(取組主体：「きよさと未来予想図」をつくる会)

4 住むところ

→ ④ **空き家**などを活用した住まいの確保

(取組主体：「きよさと未来予想図」をつくる会、上越市)

ビレッジプラン2030から生まれたプロジェクト

■ きよさと朝市



ビレッジプラン2030から生まれたプロジェクト

■秋の味覚を楽しむ会in清里



2023/10/6

一般社団法人櫛池農業振興会

13

ビレッジプラン2030 実現のために取組む事業

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業



農村RMO形成推進事業 1年目

■ビジョンづくり

コンサルタントと業務委託契約

(次年度以降の展開へ向けた調査を含む)

■3本柱で実証事業

- ✓ 農用地保全 …小中学校との連携・ハーブ薬草など植栽/加工
- ✓ 地域資源活用…きよさと朝市・体験型プログラム
- ✓ 生活支援 …こども食堂・多世代交流拠点創設

■運営組織の形成へ向けた準備

- ✓ 先進地の視察を予定
(地域づくり先進地1回／農村RMO形成推進事業2年目取組の地1回 計2回)
- ✓ プロジェクトリーダー向けワークショップ1回
- ✓ 関係者向け初級ワークショップ1回
- ✓ 全体でのワークショップ1回

活動のステップ

① 仲間を集める

…（それぞれプロジェクトごとにリーダーを募る）
移住・就農フェアへの出展

未

② 思いを共有する

…（仲間集めと思いの共有は同時に）

未

③ 将来像を描く

…ビレッジプラン2030で将来プラン案策定

案
だ
け
は
済

④ 人と資金を確保する

…資金はこの事業（農村RMO）で確保

資
金
の
み
済

⑤ 活動を継続する

…持続可能な取組にする

未

清里区農村RMO 個別プロジェクト①

多世代交流拠点の創設

■空き家活用「水草のたなか」(地域資源活用・生活支援)



清里区農村RMO 個別プロジェクト進捗 ②

遊休地の活用と、六次産業化

■ 「星の清里ハーブプロジェクト」 (農用地保全)

星の清里ハーブグラウンド

植栽・イベント

- | | |
|----|--|
| 内容 | 棚田地域の遊休地に、多様性植物を新たに栽培する |
| 場所 | 上中條、隕石落下公園周辺 他 |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none">・手がかからないものに絞り、地域で活用する・都市部や全国各地のハーブ好きな方へ向けたイベントを実施する |
| 講師 | 木村正典 氏 |



星の清里ハーブスクール

講座・加工

- | | |
|----|--|
| 内容 | 季節ごとの植物を使い、生活利用に取り入れる |
| 場所 | 棚田加工施設 地区内集会場 |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none">・身近にある植物の活用を知る・地域内で新たな活動グループを育成していく・清里ならではの加工品へ繋げていく |
| 講師 | 五十嵐郁代氏 |
| 協賛 | グリーンフラスコ株式会社 |



後援：NPO法人日本メディカルハーブ協会・上越市 (予定)

清里区農村RMO 個別プロジェクト ③

地域内外交流の拠点

■空き家活用「清里いばしょベース Cha-ya」(地域資源活用・生活支援)



イラスト kucci

○子どもを真ん中に置いた多世代交流の地域の居場所
参加に条件がないー**78.4%**

高齢者も参加ー**62.7%**

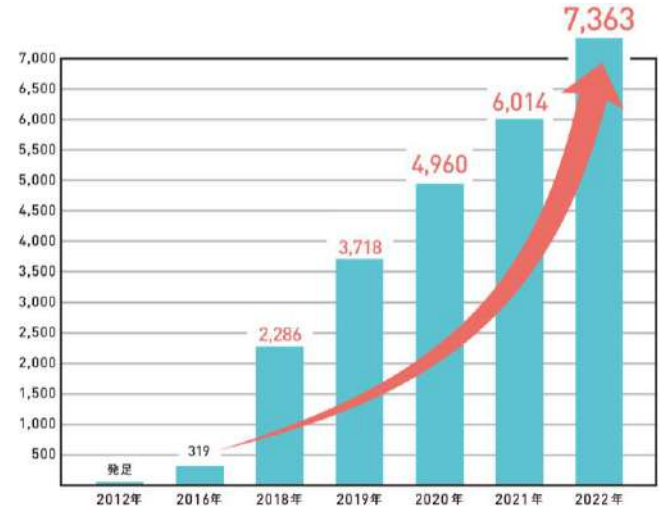
多世代交流が主たる目的ー**57.8%**

生活困窮者限定ー**5%**

子ども専用ー**4%**

こども食堂 とは

○2022年時点で全国に7,363箇所 (前年比1,349箇所増)



2018年以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ。2016年は朝日新聞調べ

新潟県内：130か所 (2021年：101か所) 充足率33位
上越市内：2か所のみ (いずれも月1開催)

清里区農村RMO 今後の活動イメージ

1年目で「清里農村RMO」事業の周知



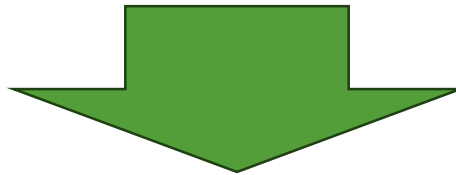
地域内関係者（関係団体）からそれぞれの視点での課題を共有



立案済みプロジェクトの推進／新規プロジェクト展開



プロジェクト進捗に伴いプロジェクトを担う次世代リーダー育成



各プロジェクトリーダーが集まることで、

【清里版農村RMO協議会】が発足する

持続可能な農村地域へ

共感と交流を基にした地域の未来のビジョンづくり

